

企画提案書の作成要領

企画提案書（以下「企画書」という。）は、東京消防庁（以下「当庁」という。）に提案する研究内容の詳細を記載するもので、当庁は企画書を用いて研究実施に関する応募者の選定を行います。

1 書類作成のルール

- (1) A4 判（縦長）用紙に 横書き、余白は上下左右各 25mm とする。
- (2) 表紙以外の本文については、片面 2 ページ以内で作成すること。ただし、イメージ図やフローチャート等を使用する場合は、別添え資料としてさらに片面 2 ページまでを添付できるものとする。
- (3) 日本語で作成すること。
- (4) フォントは MS 明朝、フォントサイズは 12pt とし、35 字/行、36 行/ページとすること。
- (5) 別添え資料の様式は、この限りではありません。

2 記載内容

企画書は別記様式第 1 号を使用し、本文には次の項目を明記してください。

- (1) 研究テーマ
当庁が提示した研究テーマに対しては、多種多様な研究アプローチによる課題解決方法が考えられます。これまでの研究実績やアイデアを生かして応募者が考案した研究テーマを設定してください。
- (2) 研究概要
設定した研究テーマについて、課題の解決方法と、目標とする研究成果物を明確に示した上で、必要な研究事項を列記し、可能な限り具体的な内容を記載してください。
- (3) 研究スケジュール
応募者が必要とする研究期間を記載してください。その際、月数まで記載してください。
なお、研究期間は原則 1 年間とし、報告書作成までの期間とします。
- (4) 研究成果物の消防防災分野への実装イメージ
研究成果物について、消防防災分野への有用性、成果物や技術の商業化、特許出願、製品開発など、研究成果をどのように活用し、実用化するかについて、現時点で想定される範囲で記載してください。
- (5) 研究成果の東京消防庁が取り組む課題への効果
研究成果が当庁の課題の解決にどのようなつながるかの具体的な内容を

記載してください。

(6) 消防防災分野への有用性について

研究成果が将来も含め消防防災のどの分野にどのように有用であるかの具体的な内容を記載してください。

(7) 成果物の実現可能性について

成果物の技術の特許出願、製品開発など、研究成果をどのように活用し、実用化するか具体的な内容を記載してください。

(8) 消防の知見等の東京消防長への協力を要請する具体的な内容について

応募者が当庁への協力や支援を必要とする消防の知見等の具体的な内容
と2(3)の「研究スケジュール」と整合するようにその時期を記載してください。

(9) その他必要と思われる資料

当庁が提示した項目だけでは企画書の内容が不十分であると判断される場合は、別途項目を加えて記載してください。